

令和2年7月30日

報道関係各位

大分県  
九州産業大学

## UIJターン就職促進に関する協定の締結について

大分県と九州産業大学（福岡市東区）は、大分県の産業の次代を担う人材の育成・確保と地域の活性化を図るため、相互に連携・協力して取り組むことについて合意し、本日「大分県と九州産業大学とのUIJターン就職促進に関する協定書」を締結しました。

大分県が就職に関する協定を大学と締結するのは初の試みであり、九州産業大学にとっても自治体と就職に関する協定を締結するのは初めてです。

協定に基づき、九州産業大学は、学生に対し大分県の各種県内企業就職支援制度に登録することや、同県が今年6月に福岡市中央区に開設したUIJターン支援拠点「dot.（ドット）」を利用することの促進を図ります。また、学生と大分県内企業との多様な接点を創出するため、共同で大分県内企業の合同説明会、保護者向け就職セミナー等を開催し、学生と大分県内企業とのマッチングを推進します。

大分県では、県外への転出が転入を上回る「転出超過」の状態が続き、その多くは15～24歳の若年層で占められ、転出先は福岡県などの都市部に集中しています。他方、大分県内高校卒業者の県外進学先としても福岡県が最多であり、「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」で掲げている、21世紀末に100万人近い人口の維持のために、UIJターンの促進による人材確保が重要な課題となっています。本協定を契機に学生へよりきめ細やかな支援を行うことで、UIJターンを促し、「大分県版の地方創生の実現」を推進していきます。

近年、学生及び保護者の地元志向が強まっており、地元就職の可能性が進学先選択に大きく影響を及ぼすようになってきました。九州産業大学は大分県と連携することにより同県企業への就職支援活動をこれまで以上に充実させ、受験生の安心感の醸成に努めます。